

## Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 359

2021年12月15日発行／みやぎ憲法九条の会

Home Page <http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

### 年末・年始の事務局の休みについて

12月27日(日)から1月4日(火)まで事務所を閉鎖させていただきます。よろしくお願いいたします。Eメールニュース360号は1月7日に送信させていただきます。

### 2022年度成人式の取り組み用チラシ作成します

宮城県内九条の会連絡会では成人式向けのパンフレットを作成します。希望する県内九条の会には希望数お送りしますので下記の事項を明記の上事務局に申し込んでください。

1. 申し込み記載内容

九条の会名、申込者名、送り先名、住所、電話番号、必要部数

2. 申し込み締め切り日 12月17日(金) 必着

3. 申し込み先

みやぎ憲法九条の会 事務局 ☎022-728-8812 FAX022-276-5160

4. お届け 1月7日(金)までにお送りします。

#### 緊急署名(11/30現在)

宮城県内9条の会連絡会：4,604筆 他団体：6,692筆

合計：緊急署名推進センターの集約：12,296筆



## 1月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- 名取市：旧ヤマザワ前道路交差点
- 涌谷町：涌谷公民館前交差点
- 宮城野区：坂下交差点
- 小牛田：国道108号山の神神社前交差点

## 【これからの県内催事情報】

吉野作造記念館2021年度市民大学講座「吉野作蔵の文章を読みみよう」

### 第3回講座「欧州滞在期・帰国後における吉野の文章を読みみよう②」

みなさんと一緒に楽しみながら吉野の文章に親しむ講座です。吉野の政治に関する論文、エッセイや日記等の文章を読み進め、何を現代に向けて伝えようとしたかを「いま」から見つめたり、普段着の作造の姿を見てみようという3回の講座の最後となります。

日時：12月19日(日)

会場：吉野作造記念館講座室

講師：氏家 仁さん(吉野作造記念館館長)

受講料：無料(常設展は別途有料)

予約：電話でお申込みください。

入館料：一般500円、高校生300円、小・中学生200円

主催：吉野作造記念館 大崎市古川副沼1-2-3

問い合わせ先：0229-23-7100 e-mail [yoshino-npo.fg@bulue.ocn.ne.jp](mailto:yoshino-npo.fg@bulue.ocn.ne.jp)

市民と野党の共闘を前へ

## 「生存のための闘いを、今。参院選勝利をめざす集い」

日時：12月25日(土)13:30~16:00

会場：フォレスト仙台2F大ホール(仙台市柏木1丁目2-45)

(Zoomによる視聴も可能です。URLは後日、市民連合@みやぎ Facebookにてご確認ください)

プログラム：

あいさつ：衆議院議員岡本章子さん、鎌田さゆりさん、高橋千鶴子さん

報告：総選挙を振り返って(報告 市民連合@みやぎ)

講演：米山隆一さん(新潟5区)「野党共闘、ここが大事」

クロストーク：「参議院選挙 我ら、かく他戦う—総選挙の経験から学ぶ」

参議院議員 石垣のり子さん、衆議院議員のみなさん、市民連合@みやぎ

主催：市民と野党の共闘で政治を変える市民連合みやぎ(市民連合@みやぎ)

連絡先：080-1673-8391 多々良

## 戦争を語り継ぐ上映会(1月)

### 「太平洋戦争 1941 開戦」～日本はなぜ開戦したのか～

甚大な犠牲者を出したアジア・隊へよう戦争に、なぜ日本は突入したのか。戦力差も踏まえ開戦を避けようとしたはずの軍人や政治家の証言、当時の人々の日記や手記、記録からひもとく。

そして、最前線の兵士たちの貴重な記録、軍中央と銃後の国民との“温度差”を描きつつ、戦争が長期化した実態を描く。(2021年、100分)

日時：1月18日(火)13:00~15:00 (参加費：無料)

会場：泉病院友の会ホール(仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1)

主催：泉病院友の会 平和の委員会

申込先：泉病院友の会378-3883 定員10名(要事前申込)

\*マスク着用、コロナ感染症拡大状況により中止となる場合も。

## 核兵器禁止条約発効

### 核兵器廃絶ネットワークみやぎ発足1周年記念イベント

日時：1月22日（土）13：30～15：30（開場13：00）

会場：仙台市福祉プラザ

プログラム：

オープニング 合唱団ふきのとう「銘文」

第一部：「私の平和への想い」 お話 齊藤とも子さん(女優)

第二部：「ヒバクシャの詩の朗読とチェロ・バイオリンのコラボ」

チェロ・ソロ演奏 塚野淳一さん(日本音楽家ユニオン東北地方本部代表運営委員)

バイオリン演奏 小川有紀子さん(仙台フィルハーモニー管弦楽団他)

参加費：参加費：無料ですが会場カンパにご協力ください。

参加申し込み：不要

主催：核兵器廃絶ネットワークみやぎ

問合せ：木村 022-243-2158

\*コロナ感染症拡大状況により中止となる場合も。

## 【宮城県内九条の会連絡会アピール】

宮城県内九条の会は12月7日幹事会を開催し、新しい全国署名の提起に合わせて署名取り組み推進のために、下記のとおり講演会を開催することとアピールを決議しました。

### 新たな全国署名に取り組もう

「憲法改悪を許さない全国署名」に取り組みましょう。

宮城県内九条の会連絡会

先の総選挙で改憲派が3分の2以上の議席を占め、参議院で辛うじて改憲派の議席を抑えています。2022年7月の参議院選挙では何としても、市民と野党の力を合わせて、改憲派議員を3分の2以下にしなければなりません。

自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党は憲法審査会を開催することに賛成し、毎週1回の定期開催までを主張しています。立憲民主党も憲法審査会の開催に同意し、憲法を論議することには賛成しています。

1月には通常国会が召集されます。そこでは予算審議とともに憲法審査会の開催と内容が問題になってきます。今、自民党の「改憲4項目」の提言などが言われていますが、かつて話題になった憲法96条の「両院の3分の2以上の賛成で発議」を『2分の1以上』に変えることもあり得ると言われています。改憲派の目的は「自衛隊を憲法に明記」し、「敵基地攻撃能力を保有」し、海外で米軍など他国の軍隊といっしょに戦争できるようにすることにあります。これを許してはなりません。

改めて「憲法改悪を許さない全国署名」を始めるにあたり、通常国会が始まり、憲法審査会の動きや各党の動きも分かってくると思います。「9条改憲NO!全国市民アクション」の共同代表である高田健さんにお話をさせていただき、改憲をめぐる情勢、全国署名の持つ意味合いもふくめ、お話しいただきます。各会・組織ともに新たな全国署名のスタート集会として位置づけ、ご参加ください。

※自民党のまとめた「改憲4項目」とは…①自衛隊の明記、②緊急事態対応、③合区解消・地方公共団体、④教育の充実」の4つです。③と④は憲法を変えなければできないことではないので、改憲4項目の狙いは9条を変えることにあります。

日時：2022（令和4）年 1月28日（金）18：30～20：00

会場：仙台市シルバーセンター7階第1研修室（マスク着用でご参加ください）

（仙台市青葉区花京院1-3-2 JR仙台駅から徒歩約8分）

講師：高田健さん（9条改憲NO!全国市民アクション共同代表）

## 【全国首長九条の会が総会アピール】

全国首長九条の会は12月12日東京で総会を開催し、オンラインを含めて63人の会員がつどい、岸田文雄首相や日本維新の会などが改憲加速の動きを強めるなかで、9条改憲トップの運動を継続・発展させることが極めて重要だとする活動方針とアピールを採択しました。アピールを以下に紹介します

### 総会アピール

岸田政権が進める9条改憲を許さないために国民の皆さん、自治体首長・元職の皆さんに訴えます

10月31日の総選挙の結果、自公や維新など改憲勢力は衆議院の3分の2を超える議席を獲得し、日本国憲法第9条をめぐるたたかいが、新たな段階に入りました。

岸田文雄首相は、総選挙で基本政策に「日本国憲法の改正を目指す」を掲げ、11月10日の記者会見では「憲法改正」に向けた党内体制の強化を指示し、茂木敏充幹事長は従来の「自民党憲法改正推進本部」から「自民党憲法改正実現本部」へ名称を変更し、安倍晋三元首相を最高顧問にすえました。党内基盤が盤石とはいえない岸田政権が、安倍元首相や高市早苗政務調査会長など、改憲タカ派の支持を引き続き得るために、憲法を入身御供に差し出したものです。それに呼応して、日本維新の会が次回参院選で改憲国民投票の同時実施を主張し、国民民主党も憲法審査会開催に同調するなど、改憲問題はアベ・スガ政権以上の危険な事態に直面しています。

一方で立憲野党が小選挙区での候補者一本化に努め、市民連合が提起した「野党共通政策の提言」を立憲野党の共通政策として確認したことは、国民の期待に応えるものでした。私たち「全国首長九条の会」も、「憲法に基づく政治の回復」カミ掲げられた共通政策の実現に、大きな期待を寄せていました。小選挙区で一本化候補の勝利が59議席にのぼり、当選した自民党候補との得票差10%以内の接戦区は33あったという事実は、「市民と野党の共闘」が政治転換につながる道であるとはっきり示しています。

いま、改憲をめぐる当面の重要な争点は、第一に、憲法審査会での改憲発議を阻止することであり、第二は、来年夏の参議院選挙で改憲勢力3分の2を食い止めることです。

だからこそ政権側はマスコミを動員しながら、来年の参院選挙に向けて立憲野党の共闘こわしに必死になっているのです。私たちはさまざまな攻撃にたじろぐことなく、手を携え大道を歩いていこうではありませんか。

「全国首長九条の会」の会員は、行政運営において憲法92条の「地方自治」規定を大切にしてきました。今年創立100周年を迎えた全国町村会が、1933年（昭和8年）に「フアッシュョ政治排撃決議」をあげて戦争政策に反対した歴史や、あの太平洋戦争の時代、地方自治体が国の下請け機関として戦争推進の道具となった反省から生まれた条文です。この地方自治制度を守るためにも、戦争につながる9条改憲を決して許さない決意を、私たちはあらためて全国民のみなさんと全ての自治体首長・元職のみなさんへ訴えるものです。

2021年12月12日

全国首長九条の会「第2回総会」

